



Title	職場・業務紹介 附属植物園
Author(s)	菅原, 彰
Citation	北海道大学農学部技術部研究・技術報告, 7, 34-34
Issue Date	2000-03
Doc URL	https://hdl.handle.net/2115/35395
Type	departmental bulletin paper
File Information	7_p34.pdf



＜職場・業務紹介＞

附属植物園



附属植物園 菅原 彰
(環境・飼育系 植物管理班)

北大に学生として在籍していた当時、植物園には数回訪れたことがあったのですが、当時の私には、植物園とは花や木がたくさんあるところ、という程度の認識しかありませんでした。キャンパスから離れている上に生来の出不精も重なって足繁く通うことはありませんでした。数年後自分の職場がこの植物園になっていようとは、当時の私には想像も出来ませんでした。しかし、実際に植物園に勤務して、内部から見ると植物園の魅力がわかってきたような気がします。

植物園の魅力として最初にあげるとすれば、立地条件です。180万都市札幌の中央部に位置しており、地元の人、観光客ともにたくさんの方が訪れます。これは大学の附属施設として社会に大きく貢献しているといえます。また、豊かな自然が都心にいながら堪能できます。樹齢100年を越える大木の向こうに高層ビルが見えるとき、自分が札幌とは別の空間にいるような贅沢な気分にも浸ることも出来ます。

次に、多種多様の植物が保存されているのも植物園の魅力でしょう。栽培されている植物種は4000種を越え、植物の多様性を理解する上でこれほどの生きた教材を提供できる場所はなかなかありません。

このような魅力を持つ植物園を維持、管理するのが自分の仕事ですが、今年1年にした仕事は多岐にわたります。勤務して最初の仕事は除雪でした。昨冬は記録的な大雪だったため、4月に入っても植物園内はいたるところ雪の山でした。なんとか開園日には間に合いましたが大変でした。施設整備も重要な仕事で、開園前は通路の整備、夏場は温室前の花壇の造成、温室内の植物の引っ越しを行いました。特に夏場の作業は記録的な猛暑だったこともあり、困難を極めました。汗が滝のように流れる、というのを初めて実感しました。それにしても冬、夏と記録づくめの年に着任したことに、なんともいえない複雑な感情を抱いたものでした。酷暑が去って秋になると落ち葉集めを行いました。落ち葉の一部は腐葉土作りに活用します。冬場は温室の整備とデスクワークが中心になります。

以上で職場・業務紹介を終わりますが、今度の4月から北海道職員に採用されることが決まりました。新しい職場でも植物園で養った知識、経験を元にごがんばってゆきたいので、引き続きご指導、ご鞭撻のほどをよろしくお願いいたします。